



体育館に参加者が集合しました。

いざという災害に備えて、自助・共助の取り組みをどう進めていくかという課題に、毎年校区で防災訓練を実施して、防災スキルや防災知識の向上を目指しています。また、校区納涼祭でも、防災士会のブースがあるなど、防災意識の向上の取り組みは進められています。この日は、明石市総合安全対策局・明石市消防本部・明石市社会福祉協議会・日本防災士会兵庫支部の協力を得て、生活・安全部企画で実施されました。

A(旭が丘・東町・鳥羽) B(中和坂・ハイレジ) C(和坂・新和坂) D(西明石町)の4つのグループに分かれて、地区から和坂小学校まで移動してきました。訓練は下記のように4つのグループに分かれて実施されました。4つの内容を参加者は、ローテーションで全部体験することができました。

①救命訓練心肺蘇生法)**②搬送訓練(車いす・救護)****③救護・搬送(応急措置)****④簡易間仕切・トイレ・ベッド**

訓練の最後には、文化・交流部と生活・安全部によるトン汁とおむすびの炊き出しをいただきました。参加者の中には、子ども達の参加もあり、防災について、小さいうちから学んでおくことも大切なことだと思いました。(広報部)